

福島原発事故被害者の切り捨てを許すな

フクシマ事故被ばくは公衆の被ばく限度「年 1 mSv」の法令違反！！

年 20mSv 基準の帰還政策、「放射線のホント」、ALPS 処理水海洋放出計画、

モニタリングポスト撤去方針、を撤回させよう

6 月 12 日政府交渉に参加を 会場：参議院議員会館 B109 会議室

12:15～ ロビーにて通行証配布

12:30～ 参加者打ち合わせ

13:00～ 復興庁

・・・「放射線のホント」撤回署名の追加提出と交渉

14:00～ 原子力災害対策本部

・・・年 20mSv の帰還政策撤回を求めて

15:00～ 原子力規制庁、資源エネ庁

・・・ALPS 処理水海洋放出計画の撤回

原子力規制庁

・・・モニタリングポスト撤去方針の撤回

16:00～ 交渉結果のまとめと参加者意見交流 16:30 終了予定

主催：脱原発福島県民会議、双葉地方原発反対同盟、原水爆禁止日本国民会議、原子力資料情報室、全国被爆 2 世団体連絡協議会、反原子力茨城共同行動、原発はごめんだ！ヒロシマ市民の会、チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西、ヒバク反対キャンペーン

紹介議員：福島みずほ参議院議員

政府は、年 20 ミリシーベルト（以下 mSv と標記）基準による避難指示解除を進め、「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」に沿って省庁挙げて、福島原発事故被ばくの健康影響はなく、福島は復興しつつあると世論を操作し、福島原発事故被害者を切り捨て、原発再稼働の地ならしをする政策を進めています。

「放射線のホント」撤回署名約 3 万筆を追加提出し（累積約 5 万筆）、「放射線のホント」撤回を迫ります。

「風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略」に沿った、類似の内容の再改定版「放射線副読本」に対して市レベルでの回収など社会的批判が起きています。復興庁に「放射線のホント」の撤回を迫りましょう。

政府の福島原発事故被害者切り捨て許さないを追及しましょう。

政府が福島原発事故被ばくによる被害はないと被害者を切り捨てていることを追及します。◆年 20mSv 基準の帰還政策撤回、◆ALPS 処理水海洋放出計画の撤回、◆モニタリングポスト撤去方針の撤回を迫ります。

福島原発事故被ばくは公衆の被ばく限度「年 1 mSv」の法令違反と追及しましょう。

前回 12 月 20 日の政府交渉では各省庁がそろって、「公衆の被ばく限度年 1 mSv は法律に定められていない」とする見解を前面に出してきました。

反論を整理して、各省庁に対して、福島原発事故被ばくは公衆の被ばく限度年 1 mSv の法令違反だと追及します。

福島原発事故被ばくにより人格権など基本的人権が著しく侵害されていることを追及しましょう

政府は、被害者を切り捨て、被害者の立場に立たない復興政策を進め、東京オリンピックで福島原発事故からの「復興」を世界にアピールしようとしています。

福島原発事故被ばくによって人格権など基本的人権が著しく侵害されていることを追及しましょう。原子力推進政策を推進し人々を被ばくさせた国の責任を追及しましょう。

◆ 政府交渉に向けた討論集会 6 月 5 日 13:30～16:30 会場：参議院議員会館 B105 会議室

政府交渉の追及点など論議します。 13:15～ロビーにて通行証配布

主催：ヒバク反対キャンペーン、原子力資料情報室

◆ 「放射線のホント」撤回署名取組み中 約 3 万筆を 6.12 政府交渉で追加提出（累積 5 万筆）

原子力資料情報室 TEL：03-6821-3211（片岡） HomePage <http://www.cnica.jp/>

ヒバク反対キャンペーン TEL：072-792-4628（建部） HomePage hibakuhantai.sakura.ne.jp/